

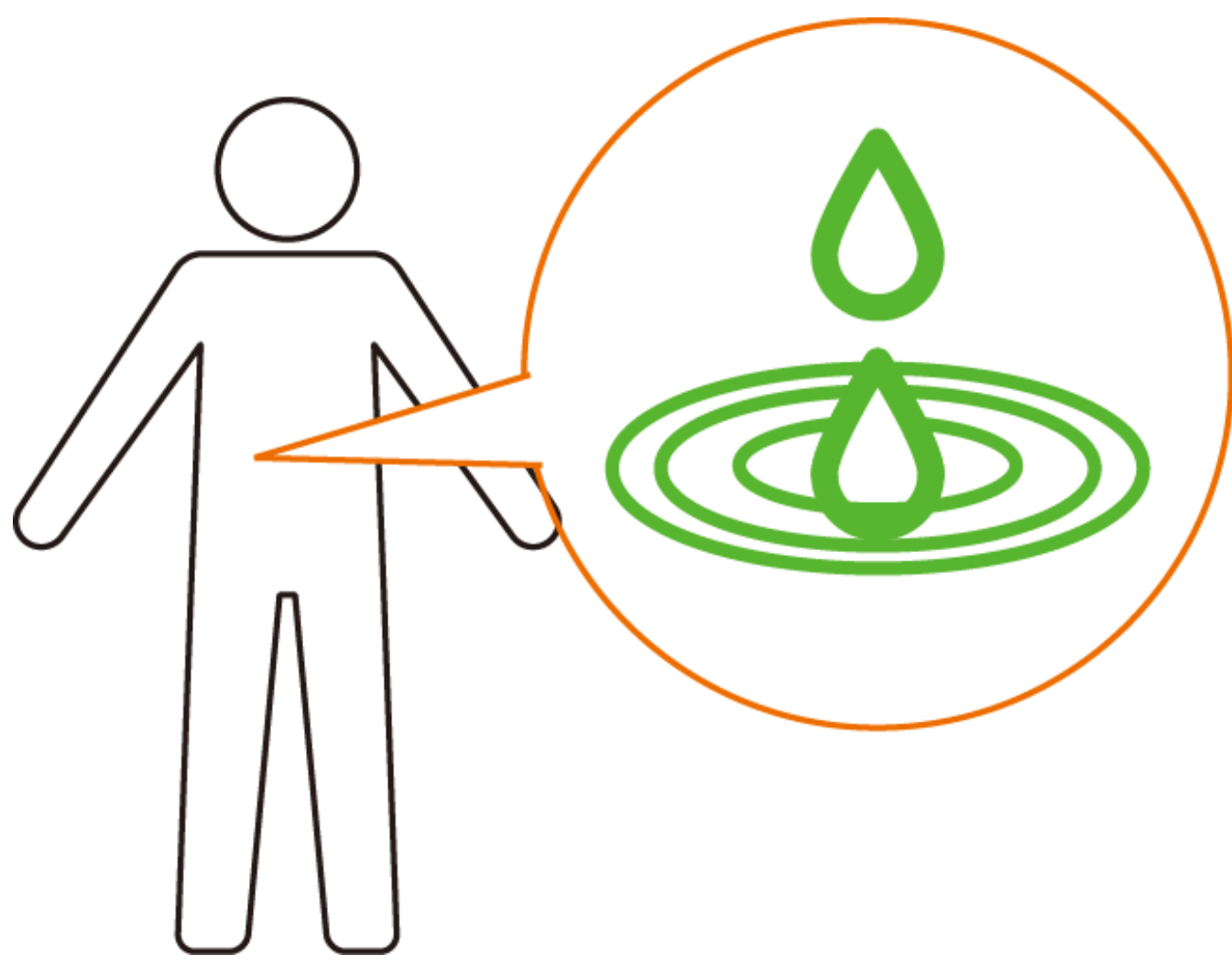
ホルモン年齢

ホルモンバランスが気になる方へ

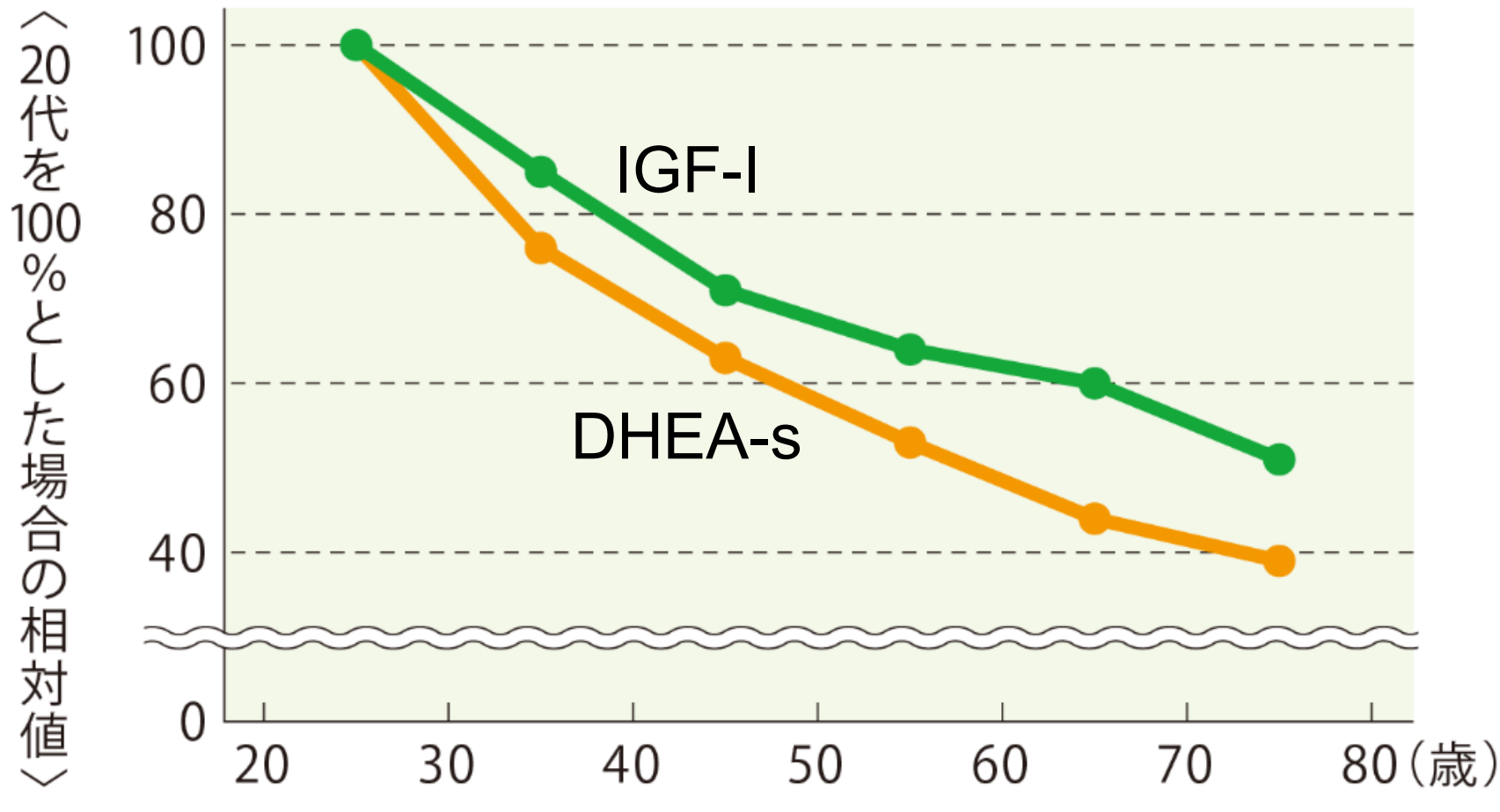
加齢に伴い変化するホルモンバランスを
チェックしませんか？

ホルモンバランスとは？

内分泌腺より分泌されるホルモンは、人間の生命を維持していくための「免疫」や「代謝」、「体の調節」へ重要な役割を果たしています。加齢や生活習慣の乱れ、ストレスの増加に伴いホルモンバランスが崩れたり、ホルモン量が減少すると「血糖値異常」、「血压異常」といった様々な症状を引き起こす要因にもなります。



年齢とホルモン量の関係



ホルモン年齢とは

年齢と共に減少するIGF-1、DHEA-sというホルモンの分泌量を測定し、これまで実施された膨大なデータと比較することでホルモン年齢を導き出します。また、コルチゾールというホルモンを測定し、DHEA-sとの比を出すことでからだのストレス状態も評価しております。

IGF-I

人体にとって重要なホルモンの1つで、新陳代謝を司る成長ホルモン。老化を防止し、若さを保つために重要な働きを持つ。

DHEA-s

免疫力を高め、ストレスホルモンに対抗し細胞を守る作用があるホルモン。副腎で作られる全てのホルモンの源と言われており、加齢と共に減少します。

コルチゾール

別名ストレスホルモン。ストレス時に分泌されストレスと対抗する力の源になります。その他、抗炎症作用などからだにとって大切な働きをしています。

DHEA-s/コルチゾール比

ストレスの指標として注目されており、うつ病の患者ではコルチゾールが高く、DHEA-sが低い傾向があるためその比率が重要なのではないかと考えられています。